



02 株式会社岩崎食品工業

令和3年10月認定



所在
埼玉県蓮田市大字関戸280

主な業務内容
食料品製造及び飲食品小売

従業員
105人

設立年月
1954年3月

■本社・本社工場

■清水工業団地工場(埼玉県蓮田市大字井沼620-23)

**地震
リスク**

最大震度6弱、
液状化の可能性は低い

**水害
リスク**

なし

**地震
リスク**

最大震度6弱、
液状化の可能性は低い

**水害
リスク**

なし

概要

御社の概要を教えてください。

埼玉で麵づくり70年の岩崎食品工業です。

近年は「麵バザール」と称して地域の住民を対象にしたマルシェを開催しており、埼玉名物肉汁うどんを中心に、毎月第1土日の午前中を利用したイベントを5年以上も続けてきたことで、すっかり地域に根付いた催しになっています。

最近ではTVなどメディアへの露出も多く、この3月には『埼玉名物肉汁うどん3人前(箱)』が Made in Saitama 優良加工食品大賞2021の栄えある大賞に選出されました。

きっかけ

事業継続力強化計画を策定したきっかけを教えてください。

- ①災害発生時において、何よりも従業員・関係者の人命を最優先とし安全を確保すること
- ②地域社会の食の安全・安定に寄与すること
- ③事業継続又は早期の再開により、お客様への影響を極力少なくすること
- ④新型コロナウイルス感染症をはじめとする感染症リスクへの備えを講ずること

苦勞

計画策定で苦勞した事と、その解決策を教えてください。

当社全体として、**バランスの良い強化策**を中心テーマに策定しました。被害想定の確認には本社と清水工業団地工場の地盤が多少異なるため、時間を取られました。また、**工場毎の対策を考える必要がある**ため、これにも多少時間が取られました。

東日本大震災の際は、本社工場は計画停電対象地域で、清水工業団地工場は対象外の地域でしたので、停電対策も異なりました。

確認する事が多かったのですが、5日間で完成しました。

社内外の変化

事業継続力強化計画を策定したことで、社内外で変化したことを教えてください。

2022年度から清水工業団地工場をメインとして、二工場体制を確立する予定ですので、強化計画は**災害対策を考える上で、良い機会になりました。**

また、SDGsへの対応も考えており、清水工業団地工場を「持続的社会への発展・維持に向けた」当社のモデル工場にすべく計画を進めておりますので、この強化計画はそのためにも良い方向を見定めることに繋がりました。

進捗

策定した事業継続力強化計画の進捗を教えてください。

- ①**清水工業団地工場にソーラーパネルを設置し、電力を全て再生可能エネルギーで稼働する体制にしました。**
- ②これにより、清水工業団地工場の製品を「お日さまうどん」とする計画があります。
- ③この強化計画と並行して食品の安全安心規格である FSSC (ISO22000) を取得し、災害対策と食品の安全安心を毎年見直す内部監査体制を整えました。
- ④従業員の災害発生時の避難誘導訓練を徹底しています。

感想

事業継続力強化計画を策定した感想を教えてください。

災害対応とSDGs対応を考える良い機会になりました。また、災害対応・環境対応への訓練の重要性を従業員に教育・説明することが容易になりました。従業員の心の健康の重要性を再認識する機会になりました。

これらの対応には、事前対策の充実が不可欠で、これをキチンと実施しないと、従業員・関係者が年末年始に全員が一緒に休むことは難しいと思います。

感想

計画の策定を他の事業所にも勧めるとしたら

時間やノウハウがないことで、強化計画を策定しない社長さんが多いと思いますが、実際に強化計画を策定すると**多くの気づき**がありますので、策定することをお勧めします。

例えば、本社と清水工業団地工場のハザードマップ上の色の違いとその理由を改めて意識することができ、事業所ごとの対応を計画することに繋がりました。

感想

紹介者からの一言(蓮田市商工会)

(株)岩崎食品工業様より最初にご相談頂いたのは昨年7月でした。経営革新計画の計画策定のご要望を頂いた際、合わせて事業継続力強化計画の策定をお勧め致しました。既に、事業継続の一環として様々な取り組みを実践しており、この機会に**体系的に計画を取り纏めてみる**ことをご提案致しました。その後、BCPアドバイザーの丁寧なサポートにより認定に至りました。地域を牽引する事業経営を目指す当該企業の目標が叶うよう、今後ともご支援を継続してまいります。